

ることは損だと言ふべきやうな考へ方をすてアクマデ未組織の小作人と一緒に小作米減免闘争を起し、組合の擴大強化をはかり組合の闘争力を強めることは勿論である。また部落世話役を設けて部落の小さな問題でも大衆闘争の方向に進めるようにせねばならない。

2. 立禁土地引上反對闘争

一、中小地主の没落による土地引上、二、勸業銀行、地方銀行、金融會社等の競賣による、三、地價ツリ上げのための區劃整理による、四、大地主の土地賣ニゲ五、小作米減免に原因した土地引上、六、農教土木事業河川、道路による土地引上が調停又は裁判によつて強制的に行なはれてゐるか、然し如何理由による土地引上に對しても絶對反對である。父祖傳來者々が生命を打込

んで耕やし今日の美田とした土地が而も吾々生命のツナである土地が、單に地主の所有によるからと言つて自由に引上げられることはアク迄反對せねばならない。吾々は止むを得ずして反千圓若クハ千八百圓の生活保證として地主に金を出させて土地を返したことがある。然し千圓二千圓の金は借金の穴埋めマタタク間に失くなつて、將來の一家族の生活保證の役には立たないのである地主の土地引上に對し、我々は奈良、新潟、福佐に於ける三ヶ敷支部の如く、金組合員の力によつて、共同耕作共同田植等の大衆行動がとられ、土地立入禁止強制執行をケトバン吾々の手に土地を奪取せねばならぬ。土地引上、立禁強制執行の襲來については地主の行動を常に監視し、指導部争議團の編成、動員網の確立、青少年婦人